

スターハブ(STAR)

大胆なDX成長戦略「DARE+」の下、「オールイン・ワン」かつ「無制限接続」のデジタルサービスでARPUを押し上げ
シンガポール | 無線通信 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG: STH | REUTERS STAR.SI

- 2023/12期1Q(1-3月)は、総収益が前年同期比8.7%増、通信サービスEBITDAマージンが同1.8ポイント低下も、純利益が同26.0%増。
- エンターテインメント事業が同21%増収。デジタルサービスの「無制限接続」が他事業にも波及し、会社全体のARPUを押し上げた。
- 大胆なデジタル変革(DX)の成長戦略「DARE+」の下で2022-26年度まで累計2.80億SGDの費用削減および2.20億SGDの粗利益増加目標。

What is the news?

5/11発表の2023/12期1Q(1-3月)は、総収益が前年同期比8.7%増の5.57億SGD、機器販売を除いた通信サービス収入が同11.0%増の4.61億SGD、通信サービスEBITDA(利払い前・税引き前・償却前利益)マージンが同1.8ポイント低下の22.4%、純利益が同26.0%増の37.5百万SGD。同業他社のマイリパブリック・ブロード統合(昨年4-6月期完了)の影響を除けば、総収益が同5.2%増、通信サービス収益が同6.8%増だった。純金利費用の減少も最終増益に寄与した。

消費者向けエンターテインメント事業を起点として有料テレビから動画配信、クラウドゲーム、およびその他デジタル・ソリューションに至るまでの「無制限接続(インフィニティ・プレイ)」が他事業セグメントに波及。会社全体のARPU(1ユーザー当たり平均収益)を押し上げた。

1Qのセグメント別の売上高は以下の通り。①モバイル通信は、国境を跨いだ旅行の回復を背景に前年同期比13.5%増の1.52億SGD。②「StarHub TV+」およびその他のストリーミング・サービスなどから構成されるエンターテインメント事業は、同21.0%増の57.1百万SGD。英サッカー「プレミア・リーグ」がテレビ視聴者登録者数を押し上げた。③ブロードバンドサービスは、マイリパブリック買収効果により同20.4%増の62.0百万SGD。④エンタープライズ事業は、同3.9%増の1.90億SGD。その内、ネットワーク・ソリューションが同8.3%増、サイバーセキュリティ・サービスが同3.6%増と業績に貢献した。

How do we view this?

通期会社計画は、通信サービス収入が前期比8-10%増、通信サービスEBITDAマージンが約20%、周波数帯域使用権除く資本的支出(成長デジタル戦略「DARE+」およびITトランスフォーメーション関連投資を含む)の対売上高率が13-15%(1Q実績3.1%)と従来計画を据え置いた。

同社は21年11月、大胆なデジタル変革(DX)の成長戦略「DARE+」を発表。通信会社の枠を超え、サービス間の境界を取り除いたデジタル・エンゲージメントを中核とし、顧客向け包括的プラットフォーム上で一連の製品とサービスを「オールインワン」かつ無制限接続の「インフィニティ・プレイ」を推進。「DARE+」戦略の下で2022年度から26年度までで累計2.80億SGDの費用削減および2.20億SGDの粗利益増が目標だ。

業績推移

※参考レート 1SGD=101.87円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
売上高(百万SGD)	2,028	2,042	2,327	2,490	2,580
当期利益(百万SGD)	157	149	62	113	138
EPS(SGD)	0.09	0.08	0.03	0.07	0.08
PER(倍)	11.33	12.75	34.00	14.78	12.29
BPS(SGD)	0.20	0.23	0.19	0.34	0.38
PBR(倍)	5.21	4.53	5.33	2.97	2.69
配当(SGD)	0.05	0.06	0.05	0.05	0.06
配当利回り(%)	4.90	5.88	4.90	5.10	6.08

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) 0.05 (予想はBloomberg)
終値(SGD) 1.02 2023/5/16

会社概要

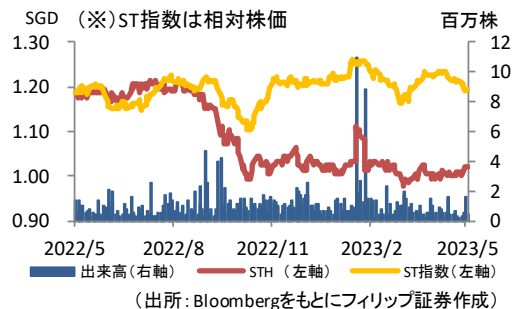
1995年にケーブルテレビ事業で創業後、2000年に会社設立。通信、エンターテインメント、デジタルソリューションを提供するシンガポール第2位の通信企業。モバイル通信や固定通信サービス、幅広いコンテンツや通信ソリューションを個人・企業向けに提供するほか、人工知能(AI)やサイバーセキュリティ、データ分析、IoT、ロボット工学などを組み込んだソリューション開発も行う。

同社は、コンシューマー向けとして、①モバイル通信、②有料テレビチャンネルのStarHub TV+、ストリーミング動画配信その他クラウドサービスを提供するエンターテインメント事業、③ブロードバンドサービスを営むほか、④エンタープライズ(大企業向け)事業を営む。エンタープライズ事業は、「ネットワークソリューションズ」、「サイバーセキュリティ」、「地域ICT(情報通信技術)」の3事業を含む。

また、同社は持続可能で環境に配慮した経営を推進。SGXの「Sustainability Leaders Index」や「Sustainability Leaders Enhanced Index」の構成銘柄でもある。

企業データ(2023/5/16)

ベータ値	0.64
時価総額(百万SGD)	1,765
企業価値=EV(百万SGD)	2,813
3か月平均売買代金(百万SGD)	0.7



主要株主(2023/5)

1. テマセク・ホールディングス	55.82
2. 日本電信電話	9.91
3. VANGUARD GROUP	1.07

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。